

全医労青年部ニュース

(Cookie News Paper)

全日本国立医療労働組合
2013年9月24日発行
No. 12

東北地方協 青年パワーで雨が止む!?

サマキャン ～高原でリフレッシュ～



午前中の雨は午後になり、青空の下、8月30日(金)～31日(土)の2日間、東北地方協で「サマキャン2013」が岩手県安比高原で開催され、参加者は昨年の参加者数の10人を上回り、43名が参加しました。そのうち、半数

は、今年入った新人さんです。

自己紹介レクや高原内のオブジェ探しレクを行い、参加者や班のメンバーとの交流を深めました。

夜は、ゲームや花火をして、夏の最後の夜を満喫し、思い出づくりをしました。その後も、交流会は日付が変わるころまで続けました。



翌日はあいにくの雨。最初に、支部青年部長と新人組合員に分かれて分科会。支部青年部長はこれからの地方協の青年部活動や支部・地区活動について話し合い、新人組合員さんの分科会では、「グチの木づくり」。日頃の働いている職場の思い、グチ、要求などを出し合い、それらを改善するため、支部でできること、施設との団体交渉が必要なことなどをグループに分けました。

その後は、体育館へ移動。バレーを行い、汗を流しました。

自然いっぱいの安比高原で、リフレッシュするとともに、集会を通して、仲間と交流し組合の楽しさを感じ、学習で組合の大切さを学んだ2日間でした。

最初は、緊張気味の参加者も、最後は笑顔になって帰っていきました。





広島に行つて来ました。

全国アクトin広島

八月二十三日～二十五日広島県安芸宮島において日本医療連青年協主催「全国アクトin 広島」が開催され、全国の医療現場で働く青年が六百人を超えて集まりました。全医からは昨年を上回る五十四名の仲間が参加しました。ダイナマイトゼンイロウで同じ班のメンバーとの再会もありました。

今年の全国アクトは、天気恵まれず、二日目のオリエンテリングは、警報が出るほどの大雨。過去のアクトでは、雨が降ったことがないとのこと。しかし、雨でもお構いなし。雨にも負けず、風にも負けず、仲間との交流を楽しみました。夜は恒例の「夜祭」。本来なら、宮島のキャンプ場で行われる予定でしたが、雨のため、体育館に。六百名が一同に踊り、体育館は、熱気に包まれました。

今回の全国アクトは「福島県」での開催です。今回参加できなかった人は、ぜひ、二年後の全国アクトをお楽しみに！！

参加者からの感想

・班でもみじまんじゅう作りをしましたが、思っていた以上に上手にでき、おいしかったです。店に入ると試食でもみじまんじゅうをもらい、あれほどたくさん食べてのは初めての3日間でした。また、偶然、広島にいる同級生に会うことができました。(高知支部・山本 さおり、純代)

・今回アクトに参加しようと思ったのは、同じ病院の看護師さんに誘われたのと他の病院の方と交流できると思ったからです。また療養介助員という職種を知ってもらい良い機会だと思いました。平和公園や資料館を見学し、戦争は悲惨な結果しか残さないと感じたと同時に、同じ悲劇を繰り返さないためにも、平和について考えないといけないと思いました。全国アクトに参加して、仲間との出会いと交流を通して、楽しさだけでなく、絆を強くして団結することの大切さなど人生の素敵な思い出をつくることができました。(やまと支部・伊藤集 療養介助職)

- ・初めて参加しましたが、班交流も夜祭りも楽しかった。(アンケートより)
- ・夜祭りがみんな一体感がありすごかった。(アンケートより)
- ・班のメンバーがいろんな地域の人だったのでとてもよかった。(アンケートより)

